



わき 脇れい子

藤沢市議会議員

2016年 冬号通信 だより

ブログ <http://wakireiko.ldblog.jp/>

E-mail : reich0513@yahoo.co.jp



人が 活きる まち!!



討議資料

発行：脇れい子と手をつなぐ会 〒251-0047 藤沢市辻堂5-20-11 Tel/Fax : 0466-35-0762

2016 年を迎えて

2016年の新しい年がスタートしました。昨年4月に行われた藤沢市議会議員選挙で、多くの皆さまのご支援で2期目の当選を果たすことができ、はや9か月になります。

昨年は年明けから安全保障関連法（戦争法）案成立阻止に向けた数々の運動が全国で繰り広げられ、私も国会前行動、駅頭行動などに参加し、反対の意思表示をしてきました。安倍政権は昨年の7月15日衆議院特別委員会で、翌16日には衆議院本会議で強行採決、参議院では9月17日の特別委員会、また9月19日未明には参議院本会議でも強行採決という暴挙を行いました。民主主義、立憲主義をないがしろにする安倍政権の独裁を何としても止めなければなりません。

藤沢市議会でも「戦争法に反対する藤沢市議会有志の会」を結成し、党派を超えて活動をしています。「藤沢市核兵器廃絶平和都市宣言」をし「藤沢市核兵器廃絶平和推進の基本に関する条例」を制定している藤沢から、この戦争法廃止を求めて、あきらめず、行動を起こしていきたいと思います。

また、2期目の議員として、藤沢市の将来を見据えしっかりと活動をし、みなさまのご期待にそえるよう、精進して参ります。引き続きのご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

2015年度の所属委員会

厚生環境常任委員会 委員長

議会運営委員会 副委員長

藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会 委員



脇れい子の一般質問

2期目も藤沢市で誰もが安心して尊厳のある暮らしができるよう、市議会でも積極的に発言をしていきたいと思います。昨年（2015年）6月、9月、12月の本会議でも一般質問を行いました。各議会での一般質問の要旨を報告いたします。

6月一般質問

件名1 人権意識啓発の取り組みについて 要旨(1) 人権に関する市民意識調査の結果について

★選挙で掲げた「人権尊重のまちづくり」の視点から、人権意識啓発の取り組みについて、藤沢市が行った人権に関する市民意識調査の結果を基に質問を行いました。

策定から8年が経った「藤沢市人権施策推進指針」は、今年初めて改定がされます。人権を取り巻く状況は、複雑かつ多様化している中で、指針の改定は定期的に行うべきだと指摘をしました。

★市当局から、今後概ね5年ごとに意識調査を行い、合わせて「藤沢市人権施策推進指針」の改定を行っていくとの答弁を得ました。

要旨(2) 出資団体における不適切な採用事務の執行について

★藤沢市の出資法人である公益社団法人藤沢市まちづくり協会が、2015年1月に行った職員採用試験の募集案内で、撤廃をされている国籍条項を付していたことがわかりました。本来なら受験資格のある人を排除してしまった就職差別、外国人に対する差別につながる事象です。この不適切な採用に関して、市もこの事実を重く受け止め、なぜこのようなことが起きてしまったのかしっかりと検証をし、再発防止に努め、今後公正な採用事務が行われるよう、人権意識啓発の観点から質問をしました。

★市当局からは、出資団体に対し、人権意識のさらなる浸透を図るとともに、適切な採用事務が行われるよう、引き続き情報提供や注意喚起をしていく、との答弁がありました。

9月一般質問

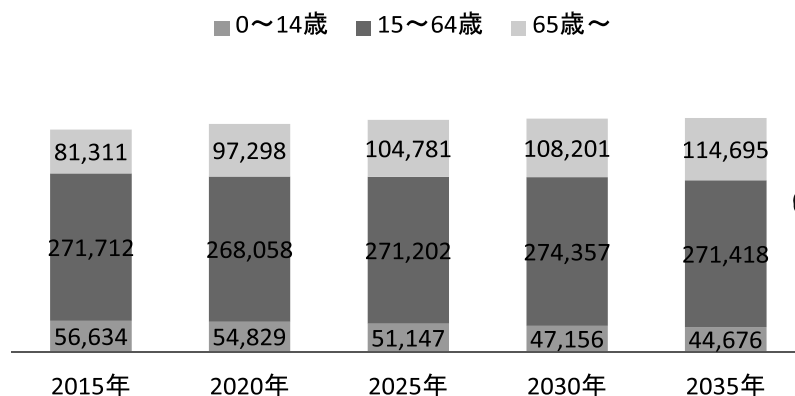
件名1 誰もが尊厳をもって暮らせる藤沢のまちづくりについて 要旨(1) 高齢者施策の基盤づくりについて

★2015年改定の介護保険法では、介護予防事業と介護予防・日常支援総合事業が新しい総合事業に統合、また要支援者に対する全国一律の訪問介護・通所介護を予防給付から切り離し、市町村が地域の実情に応じた取り組みをする新しい総合事業に移行されます。市町村は2017年4月までに新総合事業に移行することになります。この新総合事業は市町村の裁量で行い、市町村で格差の生じる事業ともなり得ます。地域の実情をどれだけ把握できているのか、どんな事業を展開したら地域のニーズに合致するのか、藤沢市らしい新総合事業を立ち上げるためのとりくみを質問しました。

★藤沢市は、新総合事業を段階的に行うこととし、2016年10月から、現行と同様のサービスに加え、新たに専門的な資格要件などの人員基準を緩和したサービスを導入し、2017年4月までに新たなサービス提供体制に移行していくとの答弁でした。

★今回の改定で、国は住民主体のボランティアなど「互助サービス」を作り出すことを推進しています。ボランティアが新総合事業の担い手となるわけですが、継続性、サービスの質等、課題が多く、現在の介護現場や利用者の方からも、多くの不安の声を聞いています。市の答弁では、2025年にはボランティアの活用ができるよう方策を構築していくとのことでしたが、具体性のない答弁で終わりました。

藤沢市の将来人口推計 (藤沢市市政運営の総合指針2016より)



人口は2030年に約43万人でピークをむかえ、その後減少。高齢化率は、2015年に25%を超え、2035年には29%を超えると推計。

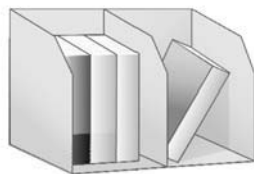
★取り組みにスピード感が感じられず、新しいサービス導入がきちんとできるのか不安だと指摘し、市の力量が問われる課題であり、他市に誇れるような藤沢らしい体制を早急に構築していただきたいと要望しました。

(2) 障がい者差別解消法施行に向けての本市の取り組みについて

★今年の4月から障害者差別解消法が施行されます。この法律の施行に向けた本市の考え方や法律施行後に期待できる効果など、また江の島島内のバリアフリーについて、藤沢市の考え方について質問しました。

★市当局からは、江の島島内のバリアフリー化は課題が山積しているが、その必要性は十分に認識している。総合的な課題解決に向けた取り組みを進める必要があるため、庁内関係各課による検討会議を開始し、具体的な手法やスケジュールなどについての検討に着手していく、との答弁でした。

12月の定例会で、江の島バリアフリー化の調査、基本計画策定に関する計画案が示され、補正予算額1,069万円が上程、可決されました。今後専門家による調査が始まります。



12月一般質問

件名 1) 子育てにやさしい藤沢のまちづくりについて

要旨 (1) 子どもの最善の利益を実現するための取り組みについて

★地域で支える子育ての視点から、妊娠、出産、子育てと切れ目のない支援について、今後の取り組みの具体策を質問しました。

★市の答弁は、今後、南北保健センターを「子育て世代包括支援センター」の拠点として位置づけることを想定し、保健師の地区担当制を明確化し、母子保健コーディネーターとして、地域の関係機関等と連携して、担当地区の母子に対する継続的な支援を行うなど、「藤沢版ネウボラ[※]」を目指すということでした。

★早期の立ち上げと、トレーニングを積んだ保健師を配置し、子育てに不安を感じている方たちの相談をじっくりと聴き、家族に寄り添う支援体制をつくっていただきたいと要望しました。また、産前産後のサポートとしてのヘルパー派遣による家事支援も要望しました。

※ネウボラとは、フィンランド語で“ネウボ (neuvo) = アドバイス” “ラ (la) = 場所” という意味。妊娠から出産、子どもが生まれた後も切れ目なくサポートを提供する総合的な支援サービスのこと。



藤沢市教育委員会 教科書採択結果について

昨年7月29日、教育委員会定例会が開催され、今年4月から藤沢市立中学校で使用する教科書採択が行われました。採択に先立つ7月14日、藤沢の子どもたちにふさわしい教科書を採択して欲しいとの思いから、「藤沢市立中学校教科書採択に当たっては中学校の先生や保護者の意向を尊重してください」という要望書を、5万4千筆を超える署名とともに、教育委員会に提出しました。

しかしながら、思いは教育委員の皆さんには届かず、歴史・公民では前回に引き続き、教員も多くの保護者も望んでいない育鵬社の教科書が採択されてしまいました。この結果を受け、今後皆さんと情報共有をし、あらたな取り組みを構築していく必要があります。

2014（平成26）年度決算について

9月定例会で決算特別委員会が設置され、2014年度の一般会計、特別会計の審査が行われました。一般会計、特別会計すべて認定されました。

一般会計決算の歳入総額は1,387億3,581万円、歳出総額は1,334億6,348万円で、歳入歳出差引額は52億7,233万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源5億8,387万円を差し引くと、46億8,846万円の黒字となりました。しかしながら、歳入では今後、その根幹をなす市税収入の大幅な増加を見込むことが困難な状況であり、また歳出では、生活保護費をはじめとする扶助費が10年間で約180億円増加するなど、少子化、高齢化に伴う社会保障関係費のさらなる増加も予測されます。今後、歳出総額に占める経常経費の割合等を注視しながら、政策的に投入できる経費を確保していく必要があります。

日本が負担する在日米軍の駐留経費、通称「思いやり予算」の疑問に挑む映画

「ザ・思いやり」

映画上映と議会報告会

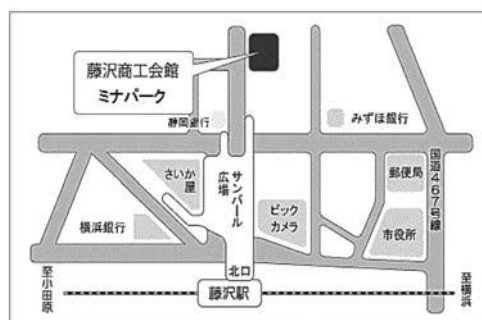
米国出身のリラン・バクレー監督のトークもあります

脇 れい子

日時:3月27日(日) 13時30分 開会

会場:藤沢商工会館 ミナパーク 302・303 会議室

「思いやり予算は」私たちの納める税金からアメリカ軍へ34年間で6兆円以上が投入され、アメリカ軍人のぜいたくな生活を支援するためにほとんどが使われています。この映画では、米軍への「思いやり予算」の不条理さと矛盾を提示し、様々な視点から私たちに問いかけをしています。なぜ、日本の経済が困難な中で、私たちの税金でここまで米軍に、思いやらなければならないのでしょうか。



藤沢市議会議員

わき
脇 れい子

☆経歴

1957年辻堂生まれ
藤沢市立高砂小学校卒
藤沢市立湘洋中学校卒
神奈川県立平塚江南高等学校卒
日本女子大学文学部史学科卒

☆現在

藤沢市議会議員 2期目
(かわせみクラブ)
I女性会議神奈川本部 事務局長
全国フェミニスト議員連盟 会員
自治体議員立憲ネットワーク 会員